

公表: 令和5年3月 31日

事業所名 放課後等デイサービス スカイブルー(ハイジ)

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切であるか	○			広い居室で高学年でもゆったり学 習する事が出来る。また個別室 が各階の各部屋に設けられてい ます。	
	② 職員の配置数は適切であるか	○			適切な配置数である。高学年の 為、法人内の男性職員に男子の 対応をしてもらう等工夫してい ます。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配 慮が適切になされているか	○			一面フラットで安全に動きやすい です。	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標 設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			業務改善委員会を通して、法人 全体でPDCAサイクルを意識して 業務にあたっています。	必要に応じて業務改善を 行っています。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を把握 し、業務改善につなげているか	○			面談の中でアンケート実施し保護 者の意向の把握に努めていま す。	アンケートをもとに保護者 の意見、意向によって必要 な業務改善を行っていきま す。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホー ムページ等で公開しているか	○			年1回 ホームページで公開して います。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげているか	○			外部によるコンサルテーションを 受け、業務改善につなげていま す。	コンサルテーションによりア ドバイスを受けて、必要に 応じて業務改善に努めてい ます。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか	○			法人全体で、年数、階層別研修 が充実しています。	積極的に研修に参加し、学 びを深めています。
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後 等デイサービス計画を作成しているか	○			面談等を通して、アセスメントし、 個別支援計画を作成しています。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用しているか	○			共通のアセスメントツールを使用 しています。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			クラス職員、2人が主に話し合 い、上司にセットアップし立案し ています。	引き続き、職員間チームで 立案を行っていきます。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫してい るか	○			季節に合った制作や、高学年なら では多様な困り感に対応する 為小グループ、個別等行ってい ます。	活動のバリエーションを増 やしていきます。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細 やかに設定して支援しているか	○			平日と長期休暇に分けて標準ス ケジュールを組んでいます。	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画 を作成しているか	○			子どもの状況や発達に合わせ て、活動や個別支援計画を作成 しています。	
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その 日行われる支援の内容や役割分担について確 認しているか	○			定期的なクラスでの会議や、毎日 の打ち合わせで、チームで情報 共有をしています。	職員間のコミュニケーション を大切にしています。

	⑩	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			定期的なクラス会議や打ち合わせ、ケースカンファレンスを通して、振り返りなどをしています。	職員間で共通認識をし、子ども達の安心感に繋げられるようにしていきます。
	⑪	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			勤務時間の中で記録作成の時間を設けて、検証改善に繋げています。	
	⑫	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的なモニタリングを行って、見直しの必要性を判断しています。	
	⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	⑮	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校にも支援員が入るなど、連携を密にしている。又、学プリを全保護者に登録していただき、出欠連絡確認の効率化を図っています。	職員間で二重、三重の確認をし、ミスのないように情報共有をしていきます。
	⑯	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			現段階では必要な子どもが通所していません。	
	⑰	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			地域との関係調整をする、地域支援の部署が法人にあり、その職員が情報共有や連携をしています。	
	⑱	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			卒業時には情報提供、相互理解などをしています。	
	⑲	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			法人内にセンターがあるので、連携して、助言や研修を受けています。	継続して、センターと連携し、助言や研修を受けていきます。
	⑳	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			地域の公園で、児童クラブ等の子ども達と一緒に遊具で遊んだりしています。	コロナ感染予防のために積極的に交流することはなかったが、感染状況を見て今後検討していきます。
	㉑	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			法人で代表をたて参加しています。	
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や電話連絡、事業所内相談等で、こまめに情報共有しています。	日頃からのコミュニケーションを大切にしていきます。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			CSPを用いて、ペアレントトレーニングをしている。特に、グループカウンセリングの前に行っています。	引き続き、参加の声掛けを行っています。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を行っています。	
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			24時間、365日、相談できる緊急携帯や、普段から保護者様と面談や電話連絡を行い必要な支援を行っています。	日頃からのコミュニケーションを大切にしていきます。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			むぎのこパパの会、保護者主催のフリースクールなど、連携や連絡をとっています。	保護者同士の連携を、引き続き、支援していきます。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情は法人では、1番の優先解決事項として、取り組んでいます。苦情処理委員会も法人内に組織されています。	
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			会報、クラスだより、ホームページなどにより、行事や活動などの情報発信に努めています。	
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報などの書類は、鍵のかかる書類庫に保管している。マニュアル化されており、法人で徹底しています。	
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			あらゆるコミュニケーション媒体を使って、(実際の会話、電話、メール、お手紙など)やり取りしています。	
非常時等の対応	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			除雪等のサポートを法人で行っています。	コロナ感染予防のために積極的に交流することはなかった。感染状況を見て今後は検討していきます。
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			面談等で周知を行っています。	
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月に1回の避難訓練に加えて、地域の小学校への大避難訓練を行っています。	
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人内の虐待防止員会で研修や啓発活動を行っています。また、週1回アンガーマネジメントに沿って、イライラした時に、その場を他の職員に任せて離れ、落ち着く行動をする練習をしています。	助けを求めやすい、職員間の関係を築いていきます。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			個別支援計画作成の際に、保護者に周知し、説明、同意を受けている。	
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			必ず、医師の指示書を提出してもらい、厳重にチェックを行い対応しています。	アレルギー対応マニュアルに沿って対応していきます。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			法人でヒヤリハットを集め、そのことで委員会が開かれ、再発防止に取り組んでいます。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。